

第15回 有床総合病院精神科フォーラム

【テーマ】チーム医療の実践の中で、精神科医療技術を磨く【日時】7月7日（土）【会場】慶應義塾協生館 藤原洋記念ホール（慶應義塾大学日吉キャンパス内）（横浜市港北区）【全体セッション】1「チームで診る摂食障害」横山伸（長野赤十字病院）・竹花加奈子（長野赤十字病院）・望月洋介（浜松医科大学医学部附属病院）／2「多職種による身体合併症への対応」富安哲也（亀田総合病院）・細谷桃代（済生会横浜市東部病院）・吉野善孝（同）・嶋津奈（横浜市立みなと赤十字病院）【分科会】医師「治療抵抗性統合失調症に対するクロザピン治療」安井玲子（国立国際医療研究センター国府台病院）・青木勉（国保旭中央病院）・長谷川大輔（東京女子医科大学）／看護「総合病院精神科病棟における看護師の役割」飯塚あい（東京医療センター）・近藤よし美（同）・中田由美（同）・清水美奈（成田赤十字病院）・伊東尚也（同）・星野達也（同）・河野佐代子（慶應義塾大学病院）／チーム医療「退院支援に向けてのチームアプローチ」小林正義（信州大学）・星野宰賢（成田赤十字病院）・下島史樹（同）・岡庭圭子（同）・成田大輔（旭こころとくらしのケアセンター）【定員】約300名【参加費】医師3000円、医師以外2000円、懇親会：医師3000円、医師以外2000円【問い合わせ】〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1 国立国際医療研究センター国府台病院内事務局【TEL】047-372-3501（内線1261）【FAX】047-320-8321【E-mail】

kohnodai-kenkyuhan1@snow.ocn.ne.jp【URL】http://psy.umin.ac.jp/

精神科訪問看護基本療養費 算定要件研修会 精神訪問看護集中講座

【日時】7月9日（月）～13日（金）【会場】東京電設工業厚生年金基金会館（新宿区大久保）【対象】訪問看護ステーション管理者・従事者、精神科訪問看護・精神科看護に従事者【定員】約80名【基礎知識】①「精神障がい者への理解」野田文隆（大正大学）／②「制度・関係する法の概要」厚生労働省担当官（予定）／③「精神保健医療施策における保健・医療サービス供給システム」伊東秀幸（田園調布学園大学）／④「在宅福祉サービスの現状」／⑤「社会活動参加への支援」金成透（所沢慈光病院）／⑥「精神科リハビリテーションの概念と実際」中村晃一（所沢慈光病院）／⑦「精神科疾患における薬物療法・服薬管理・副作用」丸山晋（ルーテル学院大学）【訪問看護の実践】①「精神訪問看護の基礎」千葉信子（多摩たんぽぽ介護サービスセンター）／「自己紹介・グループディスカッション」／②「精神障がい者をもつ家族等への支援」田上美千佳（東京都医学総合研究所）／③「困難な課題がある精神障がい者への対応」「再発の早期発見と医療継続への支援」寺田悦子（多摩在宅支援センター）【事例検討】「グループ検討・全体発表」萱間真美（聖路加看護大学）【特別講演】「地域で生きる精神障がい者」大熊一夫（ジャーナリスト）【参加費】会員30000円、非会員60000円【申

し込み】下記URLより申込書を印刷しFAX、または電話で【問い合わせ】全国訪問看護事業協会事務局【TEL】03-3351-5898【FAX】03-3351-5938【URL】http://www.zenhokan.or.jp/

看護のための 認知行動療法研究会

【第5回フレッシュセミナー】【日時】7月21日（土）【会場】NTT東日本関東病院本館4階2AB会議室内【内容】1「認知行動療法って何？」／2「統合失調症患者の認知行動療法ってどう進めるの？」【演習】3「ノーマライジング」／4「認知への介入」／5「行動への介入」【第6回フレッシュセミナー】【日時】9月15日（土）【会場】宮崎大学内【内容】1「認知行動療法って何？」／2「うつ病患者の認知行動療法ってどう進めるの？」【演習】3「認知的概念化」／4「認知再構成法」【共通】【対象】認知行動療法の初心者【参加費】3000円【講師】岡田佳詠・北野進ほか【申し込み】下記URLより申し込み【問い合わせ】〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学医学医療系保健医療学域看護科学専攻岡田佳詠研究室内【E-mail】info@cbtns.com【URL】http://www.cbtns.com/

平成24年度メンタルセミナー 3回シリーズ

【テーマ】みんなで頑張っていける「職場復帰支援」を考える【日時】7月25日（水）13:30～16:30【会場】大手町ファース

トスクエアカンファレンス【定員】
200名【基調講演】「固定観念へ
挑戦、そして『育て鍛える』職場
復帰」白波瀬丈一郎（慶大）【パ
ネルディスカッション】『働く能
力』の再生・向上を目指した職場
復帰支援の実現」司会 及川孝光
（こころとからだの元気プラザ）・
森見爾（産業医大）・パネリスト
白波瀬丈一郎・前田一寿（株式会
社ロブ）松井知子（杏林大）【参
加費】2000円【問い合わせ】財
団法人東京顕微鏡院公益事業室
〒102-8288 東京都千代田区九
段 南 4-8-32【TEL】03-5210-
6651

第35回てんかん基礎講座

【会場・日時】[大阪会場] 7月
26日（木）～27日（金）：大阪
商工会議所 [東京会場] 8月7日
（火）～8日（水）：大田区産業
プラザPiO【講演】1「てんかん
発作とてんかんの基礎」山本仁（聖
マリアンナ医科大学）／2「てん
かん発作の介助」川崎淳（川崎医
院）／3「てんかんの自己管理－
MOSES」井上有史（静岡てんかん・
神経医療センター）／「本人から
の訴え」【イントロダクション】「て
んかんの治療－難治てんかんへの
挑戦①」【講演】4「薬物療法」
池田昭夫（京都大学）／5「外科
療法1」大槻泰介（国立精神・神
経研究センター）／6「てんかん
と運転免許」松浦雅人（東京医科
歯科大学）／「家族からの訴え」【受
講料】通し料金（2日間）：
10000円（6000円）、1日のみ
料金：各7000円（4000円）、（ ）
は会員価格【申し込み・問い合わ
せ】〒162-0051 東京都新宿区
西早稲田2-2-8「全国財団」ビル

4F 日本てんかん協会「講座係」
【TEL】03-3202-5661【FAX】
03-3202-7235【E-mail】nami@
scan-net.ne.jp【URL】http://
www.jea-net.jp/kisokouza.html

第10回行動制限最小化研究会

【テーマ】医療福祉における身体
拘束の課題～専門職としてどのよ
うに向き合うかの検討【日時】7
月27日（金）～28日（土）【会
場】名古屋市公会堂【内容】「行
動制限最小化の基礎講座」（精神
科・介護保険から）／「行動制限
最小化の実践報告」（精神科・一
般科・療養型）【講演】弁護士・
介護コンサルタント（予定）【拘
束体験会】「拘束具の安全な使用
デモンストレーション」【申し込
み】【問い合わせ】〒454-0911
愛知県名古屋市巾着区高畑3-213
ケアネットジャパン（教育支援セ
ンター）【TEL】052-355-9006
【FAX】052-355-9000【E-mail】
k.kishita@gmail.com

第3回城南緩和ケア研究会・ 市民のつどい

【テーマ】「悲しみに寄り添うーが
んで大切なひとを亡くした方のた
めに」【日時】7月28日（土）
13：30～【会場】NTT東日本関
東病院4階カンファレンスルー
ム【特別講演】「遺族のためのサ
ポートグループの試み」広瀬寛子
（戸田中央総合病院）【シンポジウ
ム】「悲しみに寄り添う」前山正子・
松田マサ子（家族）・鈴木央（鈴
木内科医院）・蛭田みどり（ケア
タウン小平訪問看護ステーション）・
瀬戸恵美子（渋谷介護サポー
トセンター）・広瀬寛子【参加費】

1000円（事前申し込み不要）【問
合わせ先】鈴木央（鈴木内科医院）
【TEL】03-3772-1853【FAX】
03-5743-3656【E-mail】
suzuki-naika@nifty.ne.jp

UBOM（簡易客観的精神指標 検査）技術講習会・2012

【日時】7月28日（土）【会場】
掬水亭（埼玉県所沢市）【記念講演】
臺弘（元東大教授、坂本医院）
【UBOM技術講習会（実習）】
「UBOM測定の実際」「UBOMソ
フトウェア使用法」「UBOM使用
の経験報告」【対象】精神科医、
看護師、臨床心理士、作業療法士、
臨床検査技師、精神保健福祉士、
その他医療従事者【参加費】
UBOM研究会会員7500円、非
会員13500円（お茶代、懇親会
費込み）【申し込み】詳細は
http://www.fmu.ac.jp/home/
neuropsych/ubom/. 締め切り6月
30日（土）必着。問い合わせは
FAXまたはE-mailで【問い合わ
せ】〒963-8803 郡山市横塚
3-4-21 こおりやまほっとクリ
ニック NPO法人UBOM研究会
／〒960-1295 福島市光が丘1
福島県立医科大学医学部神経精神
医学講座内【TEL】024-547-
1331【FAX】024-548-6735
【E-mail】ubomken@fmu.ac.jp
【URL】http://www.fmu.ac.jp/
cms/neuropsych/index.html

全国訪問看護事業協会セミナー 精神訪問看護の基礎（初級編）

【テーマ】統合失調症などの利用
者と支援【日時・会場】〈大阪〉
8月17日（金）～18日（土）
大阪介護支援専門員協会内研修セ

小誌では、できるかぎり多くの「生情報」を掲載したいと思っています。
イベントを企画されている方、広報を担当されている方は、
ぜひ小誌編集室までご一報ください。
FAX. 03-5804-0485 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp

ンター（大阪市中央区）〈東京〉
8月24日（金）～25日（土）
アクセス青山フォーラム（港区南
青山）【講義】「精神障がい者の理
解と地域の連携」（大阪）澤温（さ
わ病院）・（東京）羽藤邦利（代々
木の森診療所）／「精神訪問看護
の基本的技術」萱間真美（聖路加
看護大学）／「精神科の薬物療法
のコツ」（大阪）深尾晃三（ほく
とクリニック病院）・（東京）林直
樹（東京武蔵野病院）／「難しい
場面のアセスメントと対応のコ
ツ」安保寛明（岩手晴和病院）・
谷藤伸恵（訪問看護ステーション
やまのて）／「退院調整」高田久
美（南部町国民健康保険西伯病院）
／「精神訪問看護の実践」小松弘
美（訪問看護ステーション北沢）
【対象】訪問看護ステーション管
理者・従事者、病院・施設・地域
で勤務する看護師・従事者【定員】
約100名〔以下共通〕【参加費】
会員12000円、非会員25000
円【申し込み】下記URLより申
込書を印刷し、FAXで【問い合わせ】
〒160-0022 東京都新宿
区新宿1-3-12 壱丁目参番館
401 全国訪問看護事業協会
【TEL】03-3351-5898【FAX】
03-3351-5938【URL】http://
www.zenhokan.or.jp/

聖路加看護大学
看護実践開発研究センター
2012年度認定看護管理者
ファーストレベル講習

【日時】8月20日（月）～9月
21日（金）【募集定員】70名【受
講料】180000円（税込）【受講
資格】1）大学受験資格のあるも
の、2）日本国の保健師、助産師
および看護師の何れかの免許取得
後、実務経験が通算5年以上あ

るもの【受付締め切り】6月22
日（金）消印有効【選抜方法】1）
書類審査、2）小論文：課題「私
が認定看護管理者ファーストレベ
ル講習を受講する理由」、A4用
紙1枚1000字程度（パソコン
を使用、手書きは不可）【申込書類】
所定の募集要項、申込書類は下記
URLよりダウンロードし、必要
事項を記入する【申し込み方法】
郵送。封筒の表に「認定看護管
理者ファーストレベル講習申込書類
在中」と朱書。小論文および出願
料10000円分の郵便局「普通為
替証書」を同封【宛先】〒104-
0045 東京都中央区築地3-8-5
聖路加看護大学2号館看護実践
開発研究センター 認定看護管
理者講習事務局【URL】http://
rcdnp.slcn.ac.jp/first/

第20回 べてるまつり in 浦河

【テーマ】「ホップステップだうん」
【日時】8月24日（金）～26日
（日）●24日18時半～べてるま
つり直前研修イベント【会場】浦
河文化会館ふれあいホール【ゲス
ト】三好春樹さん・芹沢俊介さん
【参加費】1000円●25日べてる
まつり第1部（午前）映画『降
りてゆく生き方』公開3周年記
念イベント【ゲスト】武田鉄也さ
ん／第2部（午後）：幻覚&妄想
大会【参加費】べてるまつり1
～3部5000円／ウレシパ総会
（昼食付・1500円）／べてるま
つり交流会（夜・4000円）【会場】
浦河文化会館●26日べてるまつ
り第3部【トークショー】角居
勝彦さん（JRA調教師）・福留賢
一さん（THD実行委員長）・向谷
地生良さん。ふれあいイベント
「Thanks Horse Days in

URAKAWA」開催中。乗馬体験・
ウエスタンショー・出店・その他
イベントあり【会場】浦河乗馬公
園【交通】札幌・新千歳空港⇄会
場へのチャーターバスあり【問
い合わせ・申し込み】べてるまつり
実行委員会〒057-0024 北海道
浦河郡浦河町築地3丁目5-21
【TEL】0146-22-5612【FAX】
0146-22-4707【E-mail】
bethel-order@vega.ocn.ne.jp

第19回日本精神科看護学会
学術集会専門I

【日時】8月31日（金）～9月1
日（土）【会場】秋田市文化会館（秋
田市山王）【学術講演】「実践力を
育てる——精神科看護における
実践力育成と感情活用」宮本真巳
（東京医科歯科大学）【分科会】「薬
物・アルコール依存者の家族介入
の取り組み」「司法精神医療にお
ける治療共同体の理念に基づく多
職種チーム医療」「児童・思春期
における精神科入院医療と地域連
携」「薬を飲ませるだけが看護か？
生活援助者としてのナースの観察
力・報告力」「認知症高齢者の隔離・
身体拘束最小化を考える - 各領域
の精神科認定看護師の立場から」
【研究発表】【特別企画】「行動制
限最小化に関する研究中間報告会
（仮）」【参加費】会員12000円、
非会員18000円、学生は無料（学
会誌なし）【申し込み】詳細は下
記URLから。8月6日（月）締
め切り【保育室】要予約・有料【問
い合わせ】トップツアー秋田支店
畠山【TEL】018-866-0109【FAX】
018-866-0177【URL】http://
www.jpna.jp/education/special-
academy.html

第 17 回多文化間精神医学会 ワークショップ

【テーマ】からだ・こころ・ことば【日時】9月1日(土)【会場】山形テルサ(山形市)【シンポジウム】「からだこころ(精神・心理療法における身体の活用)」【ランチョンセミナー】「移民の精神保健予防」(仮題)【基調講演】日本語の国際化」(仮題)【午後のシンポジウム】「こころとことば(何故不就学をなくさなければならぬのか)」【参加費】事前予約 2000 円、当日 3000 円(予定)【問い合わせ】〒990-2445 山形県山形市南栄町 2-14-5 ヒップメンタルクリニック 今田由香里【TEL】023-679-4303【FAX】023-679-4304【E-Mail】tabunkaws2011@yahoo.co.jp【URL】http://www.jstp.net/

第 31 回日本思春期学会総会・学術集会

【テーマ】思春期の危機に迫る【日時】9月1日(土)～2日(日)【会場】軽井沢プリンスホテルウエスト【理事長講演】「家族計画、リプロダクティブ・ヘルスそして思春期妊娠対策——社会医学的系譜を追って」林謙治(国立保健医療科学院)【会長講演】家坂清子(ぐんま思春期研究会)【特別講演】「女性の健康と思春期」吉村泰典(慶應義塾大学)【基調講演】「友だち地獄——『空気を読む』世代のサバイバル」土井隆義(筑波大学)【松本清一名誉理事長 追悼講演】「社会的貢献について」前原澄子(京都橘大学)・「医学的業績について」玉田太郎(自治医科大学名誉教授)【教育講演】1「不登校と引きこ

もり」斎藤環(佐々木病院)／2「自傷行為」松本俊彦(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所自殺予防総合対策センター)／3「性同一性障害」針間克己(はりまメンタルクリニック)／4「性虐待」山田不二子(日本子ども虐待医学研究会)／シンポジウム「男の子と語ろう in Web(仮)」上村茂仁(ウィメンズクリニック・かみむら)・安田ゆり子(安田学園中学校高等学校)／「女性の健康-思春期から伝えたい7つのポイント」安達知子(愛育病院)・種部恭子(女性クリニック We! 富山)・百枝幹雄(聖路加病院)・上坊敏子(社会保険相模野病院産婦人科婦人科腫瘍センター)【ワークショップ】「学校性教育を応援しよう」川口真理子(千葉県助産師会)・和田由香(いはらき思春期保健協会)・堀内比佐子(全国性教育研究団体連絡協議会)【特別企画】コテージディスカッション【参加費】会員／非会員とも事前申し込み 8000 円、当日 10000 円、学生(高校生以上) 5000 円(当日受付のみ、学生証を提示)、ぐんま思春期研究会会員 5000 円(当日受付のみ)【申し込み】下記 URL の事前登録フォームから【問い合わせ】〒140-8604 東京都品川区東品川 2-3-11 JTB グローバルマーケティング&トラベル【FAX】03-5495-0685【E-mail】jsa2012@gmt.jtb.jp【URL】http://www.ibmd.jp/jsa2012/index.html

平成 24 年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会(第 47 回日本アルコール・薬物医学会／第 34 回日本アルコール関連問題学会／第 24 回日本依存神経精神科学会)

【テーマ】連携と発展～心技の共有と知の創造を目指して【日時】9月7日(金)～9日(日)【会場】札幌コンベンションセンター(札幌市白石区)【特別講演】川村敏明(浦河赤十字病院)【第 34 回日本アルコール関連問題学会 コーディネートプログラム】シンポジウム「依存・アディクションの心理療法」田辺等(北海道立精神保健福祉センター)・中山秀紀(久里浜医療センター)・河本泰信(岡山県精神科医療センター)／シンポジウム「高齢者問題とアルコール問題」大嶋栄子(NPO 法人リカバリー)・柄澤尚江(北広島市保健福祉局)・武市直之(美唄市立病院)・佐古恵利子(リカバリーハウスいちご)／「依存症・うつ・自殺のトライアングル」吉野淳一(札幌医科大学)／「アルコール治療で看護に何が出来るのか」能戸幸子(石橋病院)・梶浦章弘(同)・岩代純(同)・山本史(久里浜医療センター)・戸田俊行(新生会病院)・吉野百合(松山記念病院)・稲原勝(雁の巣病院)・川上春美(同)／「依存症からのリカバリーと活動プログラム～当事者と提供者の視点から活動の意味を考える」池田望(札幌医科大学)・ミニレクチャー「活動プログラムの歴史～どんな風に活動は使われてきたか」長雄真一郎(神奈川県立保健福祉大学)【パネルディスカッション】「活動プログラムに期待するもの、得られるもの」山下聖子(旭山病院)・当事者の方々ほか【シンポジウム】「拡がるアディクション～インター

ネット・性・窃盗・アトピー」芦澤健（こぶし植苗病院）・三原聡子（久里浜医療センター）・榎本稔（榎本クリニック）・細谷律子（細谷皮膚科）【**職能ワークショップ**】看護師「依存症看護における支援概念の検証」梶浦章弘・世良守行（慈友クリニック）・加藤政浩（新阿武山病院）・高田和久（八幡厚生病院やはた心身医療センター）／（PSW）「連携を考える」大嶋栄子・藤田さかえ（久里浜医療センター）・小関清之（木の実町診療所）・澤下靖典（函館保護観察所）／保健師「事例検討～リストカットを繰り返すアルコール家族への介入と支援」奥村純子（名古屋医専）・遠藤厚子（世田谷区世田谷玉川総合支所）・松本俊彦（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）・徳永雅子（徳永家族問題相談室）【**参加費**】事前登録（7月31日まで）：会員8000円、非会員10000円、学生3000円。当日：会員9000円、非会員12000円、学生4000円、懇親会5000円、Get together Party（ISBRAの前夜祭）2500円（ISBRA参加者は無料）【**申し込み**】下記URLの「事前登録」フォームより【**問い合わせ**】〒060-0003 札幌市中央区北3条西3丁目1 札幌大同生命ビル コンベンションリンクージ内【**TEL**】011-272-2151【**FAX**】011-272-2152【**E-mail**】addr@c-linkage.co.jp【**URL**】http://www.c-linkage.co.jp/addr/index.html

日本家族看護学会 第19回学術集会

【**テーマ**】家族とレジリエンス【**日**

時】9月8日（土）～9日（日）【**会場**】学術総合センター（千代田区一ツ橋）【**会長講演**】「復興を支える理論 - レジリエンスとその周辺」上別府圭子（東京大学）【**特別講演**】「家族レジリエンス（Family Resilience）を強める」中村伸一（日本家族研究・家族療法学会）【**教育講演**】「最近の青年期発達の変容と家族のあり様をめぐって」牛島定信（三田精神療法研究所）【**シンポジウム**】1「東日本大震災を生きる家族の理解」上野まり（日本訪問看護財団）・小林正幸（東京学芸大学）・高橋聡美（つくば国際大学）・田中弥生（駒沢女子大学）／2「家族研究の方法論」園環樹（シロシベ）・小林京子（東京大学）・中村正（立命館大学）・山崎あけみ（上智大学）【**研究者公開シンポジウム**】「愛着と喪失 Attachment and Loss をめぐって」黒田公美（理化学研究所）・友田明美（福井大学子どもこころの発達研究センター）・遠藤利彦（東京大学）・池田真理（東京大学）【**テーマセッション**】1「医療的ケアを必要とする子どもの在宅療養を支えられる家族の力を引き出す一病棟と看護外来の活動」泊祐子（大阪医科大学）／2「解決志向型 家族アプローチ - 渡辺式家族アセスメント／支援モデルその3」柳原清子（東海大学）／3「災害における家族（遺族）支援～日本DMORT研究会の活動から」村上典子（神戸赤十字病院）／4「家族支援 CNS の活動（仮）」藤野崇（近畿大学医学部附属病院）／5「アディクション問題を抱えた家族に対する看護－共依存ケースへの具体的介入」松下年子（横浜市立大学）【**参加費**】事前申込7月23日まで。会員8000円、

非会員11000円、大学院生8000円、学部学生4000円、当日：会員11000円、非会員12000円、大学院生9000円、学部学生5000円【**問い合わせ**】「事務局」〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 医学部5号館108 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻家族看護学分野内 池田真理、佐藤伊織【**TEL／FAX**】03-5841-3694【**E-mail**】jarfn19-office@umin.ac.jp/「連絡事務局」〒106-0041 東京都港区麻布台2-3-22 一乗寺ビルコンベックス内 池田大輔【**TEL**】03-3583-6676【**FAX**】03-3589-3974【**E-mail**】jarfn19@convex.co.jp【**URL**】http://jarfn2012.umin.jp/index.html

第36回日本自殺予防学会総会

【**テーマ**】日本ではなぜ自殺が多いのか？－改めて背景と予防法を考える【**日時**】9月13日（木）～15日（土）【**会場**】ベルサール新宿（新宿区西新宿）【**会長講演**】飯森眞喜雄（東京医科大学）【**特別講演**】【**教育講演**】【**シンポジウム**】【**問い合わせ**】〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1 東京医科大学病院メンタルヘルス科医局 廣野成美【**TEL**】03-3342-6111（代）【**FAX**】03-5323-3825【**URL**】http://www.jasp.gr.jp/pdf/36th.pdf

国際看護研究会 第15回学術集会

【**テーマ**】在日外国人と災害【**日時**】9月15日（土）【**会場**】国際協力機構 JICA 横浜（神奈川県横浜市）【**基調講演**】「在日外国人

と災害」伊藤尚子（日本赤十字看護大学）「シンポジウム」「異文化で体験する災害」【一般演題申込期限】（口演・ポスター）7月6日（金）午後5時【参加費】会員：一般3000円、学生1500円、非会員：一般4000円、学生2000円【問い合わせ】〒151-0051 渋谷区広尾4-1-3 日本赤十字看護大学内事務局【E-mail】15kokusaikango@gmail.com【URL】http://kokusaikango2012.web.fc2.com/

日本ディケア学会 第17回年次大会福岡大会

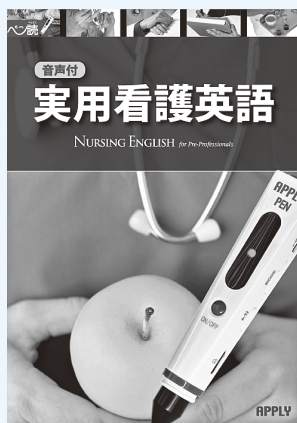
【テーマ】多様化するディケアへの期待【日時】9月20日（木）～22日（土）【会場】福岡国際会議場【大会長講演】思春期のディケアの試み～神経症圏内の子どもたちを中心に」西村良二（福岡大学）【教育講演】1「うつ病ディケアにおける集団認知行動療法の治療効果を高める技法と有効性」仲本晴男（沖縄県総合精神保健福祉センター）／2「神科医療

政策の動向からみたこれからのディケア」伊藤弘人（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）／3「若年者のうつ病・うつ状態の理解と対応」神庭重信（九州大学）／4「恋愛・結婚・子育てを支援する」池淵恵美（帝京大学）【特別講演】「精神科ディケアの理念と現実-大学精神科での事始め」西園昌久（心理社会的精神医学研究所）／2「スポーツは心の病を救う～精神障害者フットサルのこれから」岡村武彦（新阿武山病院）／3「認知症患者にみら

読者プレゼント

★『音声付 実用看護英語』を、 ペンとセットで2名様に!!

イラストと英語音声で学ぶ看護英語テキスト。本に付いている microSD カードをペンに挿入し、ペンをページ内のスピーカーマークにタッチすると、その箇所のネイティブ音声が入るといったもの。何度も聞きたいときに、CD などのように前に戻る作業がいらないのがとても便利。また、聞き流すのではなく能動的に示した文章を聞くので、覚えるのも早いとか。解剖学用語から16の診療・看護シーンを想定した会話まで、あらゆる英語表現を学べます。



*セット価格
17,430円（税込）
*発行
（株）アプライ
03-3341-6811

★映画『それでも、愛してる』の 劇場鑑賞券を3組6名様に!!

おもちゃメーカーの2代目社長で、うつに陥り、ピーパー人形を介してしか話をしない夫（父親）を演じるのはメル・ギブソン。彼を支え、振り回される妻役にはジョディ・フォスターという豪華さでありながら、ふつうの家族と「うつ」の物語をリアルに演じている見事な作品。（社）日本精神科看護技術協会も推薦しています。

* 2012年6月、シネスイッチ銀座ほか、全国ロードショー
* 2009年／アメリカ／91分／
原題「The Beaver」www.sore-ai.com

★応募方法★

本誌の最後に付いている「読者カードはがき」に、「英語プレゼント希望」「映画プレゼント希望」どちらかを明記し、必要箇所を記入のうえお送りください。

切手は不要です。ご応募お待ちしております!

れる生活障害とその対応」朝田隆（筑波大学）【シンポジウム】1「高齢者・認知症デイクア・ディサービスのこれからを考える（仮題）」池田学（熊本大学）・小川敬之（九州保健福祉大学）・上城憲司（西九州大学）／2「リワークデイクアの広がりとアウトカム」深間内文彦（榎本クリニック）・渡部芳徳（ひもろぎ心のクリニック）・大木洋子（慶應義塾大学、メディカル虎ノ門）／3「機能分化の利点と弱点」船渡川智之（東邦大学）・長谷川直美（デイクアクリニックほっとステーション）・原敬造（原クリニック）・窪田彰（錦糸町クボタクリニック）・榎林理一郎（湖南クリニック）【ランチョンセミナー】「デイクアで求められるSST」血田洋子（福岡大学）／「病院デイクアは地域の重要な社会資源～街に暮らすこと、そして就労支援」西脇健三郎（西脇病院）【参加費】事前登録（6月29日まで）：

会員 7000 円、非会員 8000 円、当日：会員 8000 円、非会員 9000 円、当事者・当事者家族・学生 4000 円【申し込み】下記 URL の事前登録フォームより【問い合わせ】〒810-0072 福岡市中央区長浜 1-1-35 新 KBC ビル 6F JTB コンベンションサポートセンター内【TEL】092-751-2102【FAX】092-751-4098【E-mail】daycare17@kys.jtb.jp【URL】<http://www.jsdct17.org/index.html>

第 34 回日本生物学的精神医学会

【テーマ】生物学的知からのパラダイムシフト【日時】9月28日（金）～30日（日）【会場】神戸国際会議場（神戸市中央区）【Plenary Lecture】Professor George Kirov（Cardiff University）、Professor Noboru Hiroi（Albert Einstein College of

Medicine）／Dr. Yuji Ikegaya（Tokyo University）、Professor Toshiya Murai（Kyoto University）【申し込み】下記 URL の事前登録フォームより。8月15日（水）まで【参加費】事前登録：会員 8000 円、非会員 12000 円、研修医 6000 円、学生 4000 円、当日：会員 10000 円、非会員 14000 円、研修医 8000 円、学生 5000 円。懇親会 3000 円【問い合わせ】[大会事務局] 〒569-8686 大阪府高槻市大学町 2-7 大阪医科大学 総合医学講座 神経精神医学教室／[運営事務局] 〒541-0047 大阪市中央区淡路町 3-6-13 コングレ内【TEL】06-6229-2555【FAX】06-6229-2556【E-mail】jsbp2012@congre.co.jp【URL】<http://www.congre.co.jp/jsbp2012/index.html>